

平成 30 年伊勢市外国人観光客実態調査 集計結果



- ・調査実施期間 平成 30 年 1 月～平成 30 年 12 月
- ・調査施設 観光案内所 5 ヶ所、市内宿泊施設 24 ヶ所
- ・調査対象 上記調査地点を訪れた外国人
- ・回収サンプル数 445 サンプル（補正後：239 サンプル）
※施設によりサンプル数の多寡があるため、集計時に補正を行っています。
- ・調査開始年月 本調査は平成 28 年 12 月から開始しています。
（平成 29 年調査：平成 28 年 12 月～平成 29 年 6 月）
- ・調査結果から見られた特徴

- (1) 平成 29 年調査に比べ、香港が増加。広域での連携により精力的な情報発信を実施しており、その効果が表れていることも考えられる。
また、平成 29 年調査と比べ、欧米の割合が微増。伊勢単独で実施している米英を中心とした欧米への情報発信の効果が表れつつあると考えられる。
今後も継続して実施することで来訪者の増加が期待される。
- (2) 欧米の約4割は初来日で伊勢を訪れているという特筆すべき傾向が見られる。
- (3) 「伊勢をいつ知ったか」という問いに対し、「母国(日本に来る前)」と回答した人が最も多いことから、旅行前に現地へ情報を届けることが肝要である。
日本に来てから伊勢を知った人については、「友人・知人から聞いた(口コミ)」が最も多く、伊勢を訪れた人の満足度をいかに上げるかが重要となる。
- (4) 伊勢の観光スポットや施設、サービスは、欧米が東アジアよりも満足度が高くなっている。
歴史文化や自然に興味・関心が高い欧米に伊勢の特色が合致し、高評価となっていると考えられる。 今後も伊勢単独では欧米への情報発信に注力していく。
一方で、英語での情報提供が課題である。

・注意

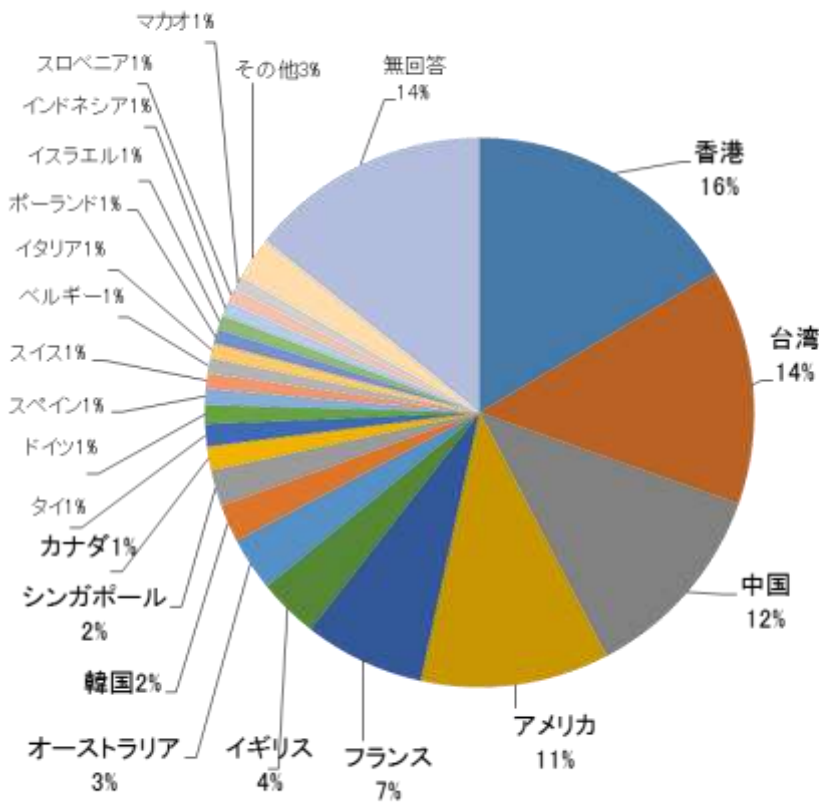
「東アジア」：中国、韓国、台湾、香港

「欧米」：アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、カナダ、オーストラリア

※平成 30 年調査の中間速報では「欧米」にイタリア、スペイン、ロシアを含んでおりませんでした。訪日外客数(JNTO 出典)の地域区分に合わせてそれらを含めることとします。

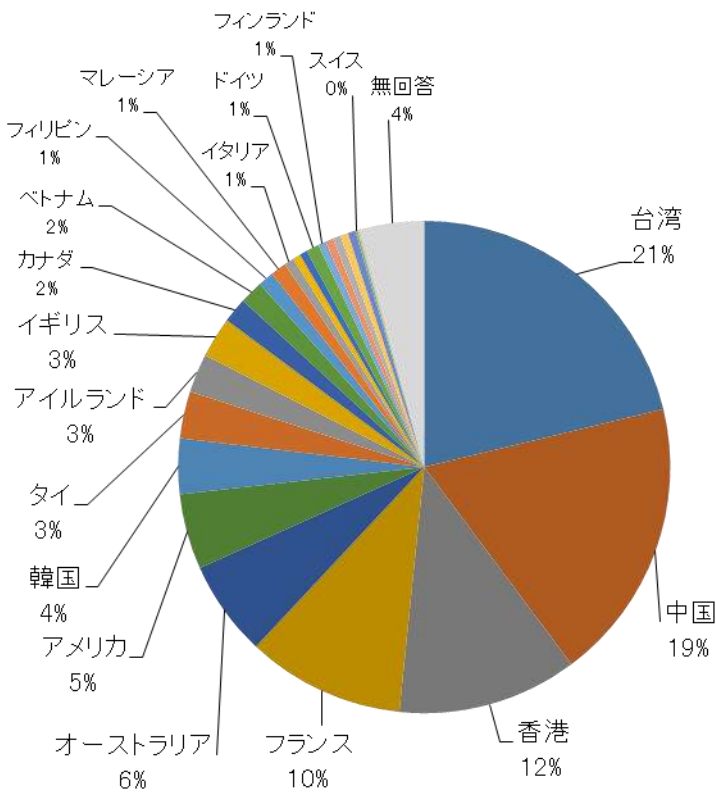
【調査項目別集計結果】

1. 国籍(出身地)



- 1位 香港
- 2位 台湾
- 3位 中国
- 4位 アメリカ
- 5位 フランス
- 6位 イギリス
- 7位 オーストラリア

<参考：H29 調査結果>

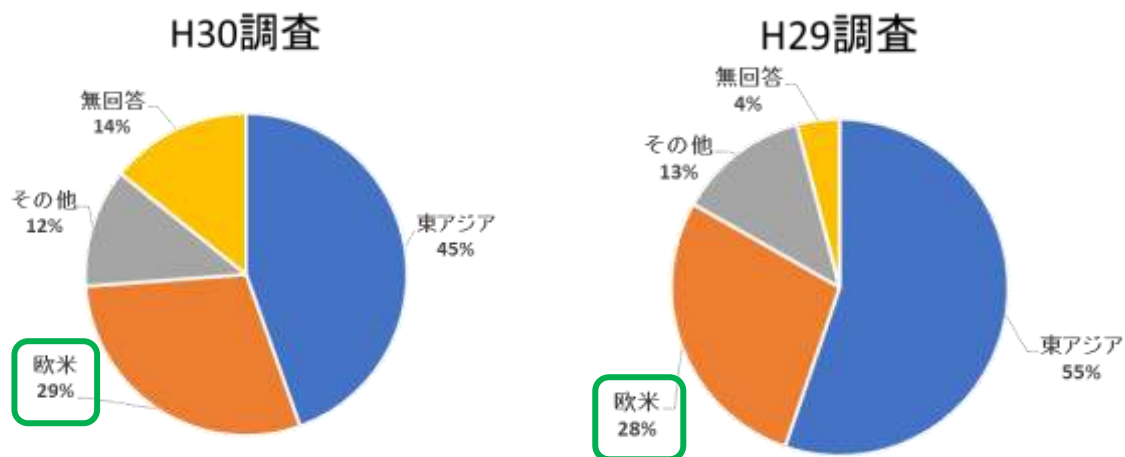


平成 29 年調査に比べ、香港が増加。訪日リピーター及び個人旅行が増加している香港に対して、広域での連携により精力的な情報発信を実施しており、その効果が表れていることも考えられる。

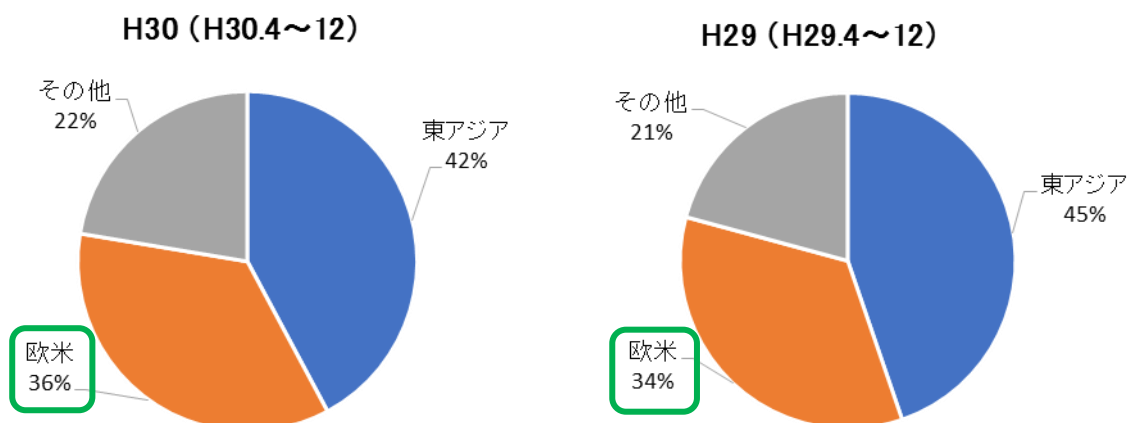
また、平成 29 年調査と比べ、欧米の割合が微増した。伊勢単独で実施している米英を中心とした欧米への情報発信の効果が表れつつあると考えられる。

今後も継続して実施することで来訪者の増加が期待される。

<参考：国籍地域別>

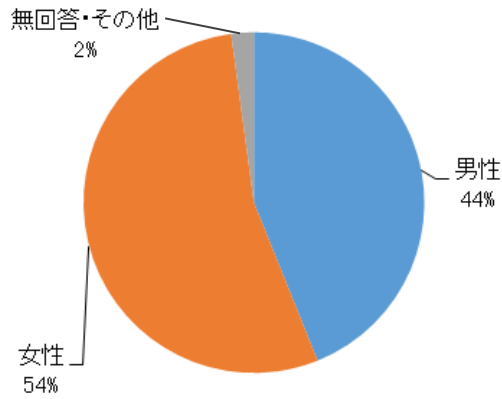


<参考：JNTO 認定外国人観光案内所 外国人案内件数合計（伊勢市観光案内所 5 か所）>

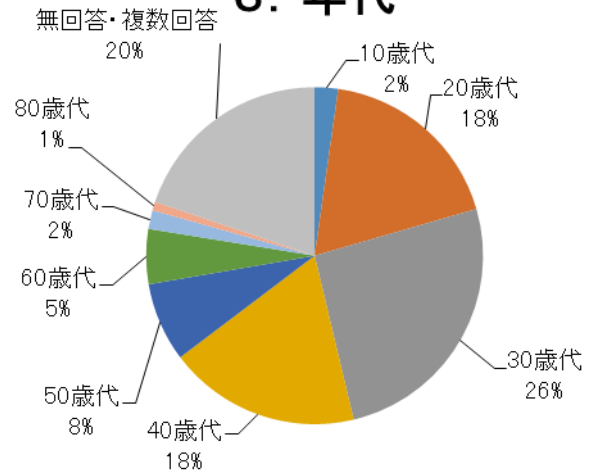


※宇治浦田と二見浦は H28 年度末に JNTO 認定外国人観光案内所に認定され、平成 29 年 1~3 月の国籍別の統計がないことから、4~12 月分で算出している。

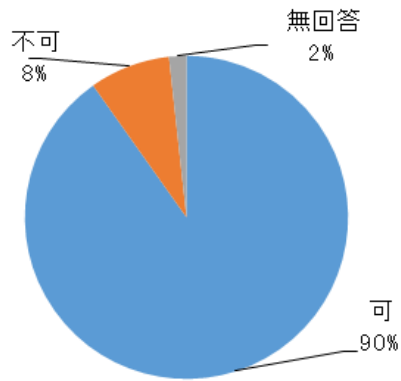
2. 性別



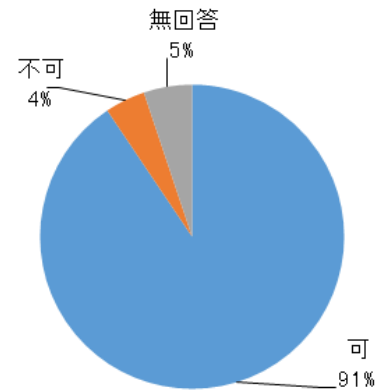
3. 年代



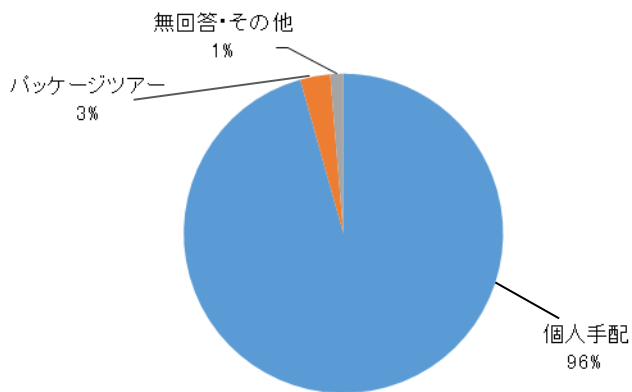
4. 英会話



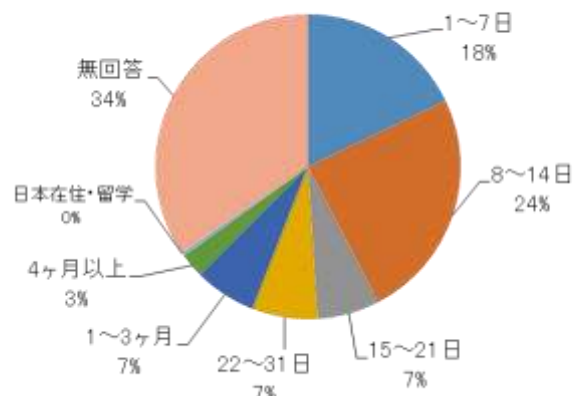
5. 英語表示を読む



6. 旅行形態



7. 日本への滞在日数

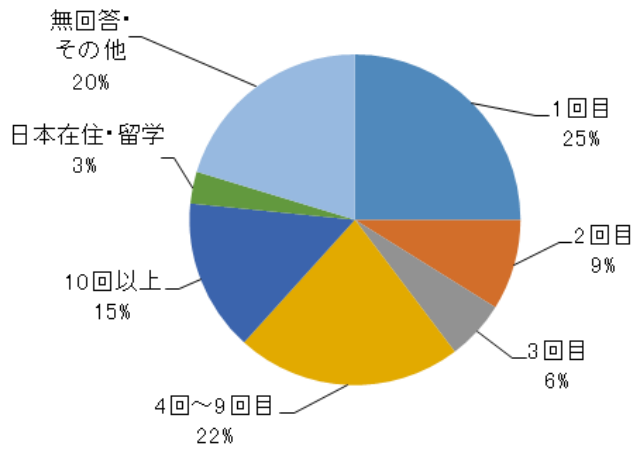


「英会話」、「英語表示を読む」が可能な、平成 29 年調査がそれぞれ 78%、83%であり、平成 30 年調査も引き続き大半を占めている。

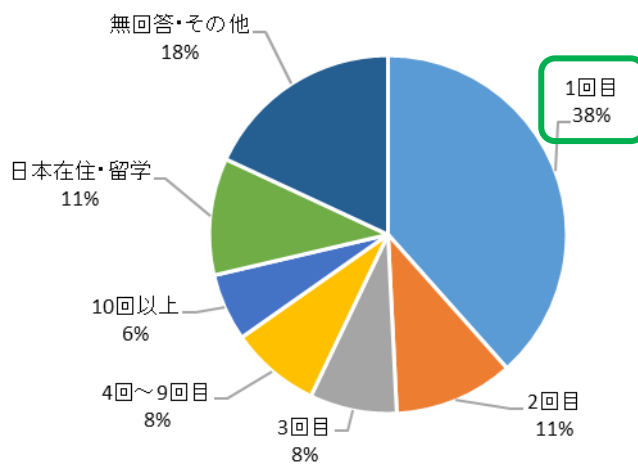
また、旅行形態が「個人手配」は、平成 29 年調査が 85%であり、引き続き大半を占めている。

■全体

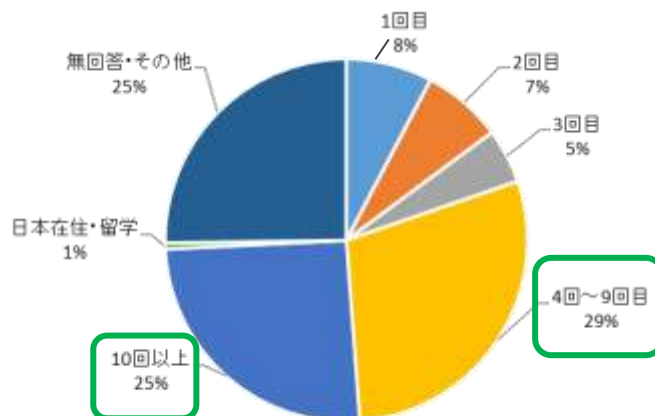
8. 訪日回数



■欧米のみ抜粋



■東アジアのみ抜粋

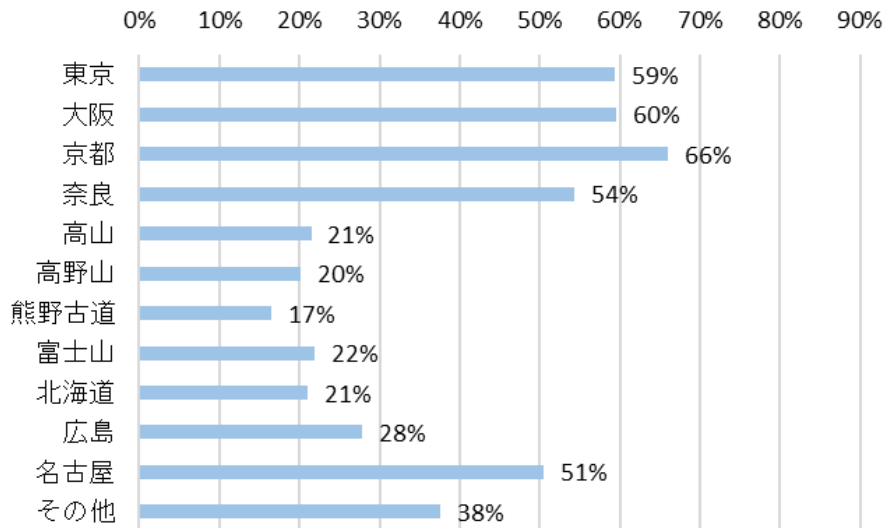


欧米は初来日が最も多く、東アジアは4回目以上のリピーターが多い。

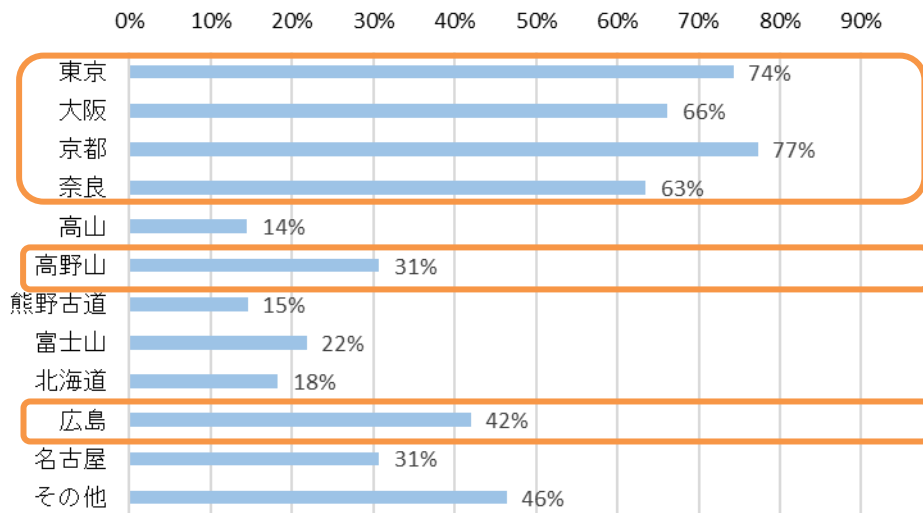
■全体

9. 訪問観光地

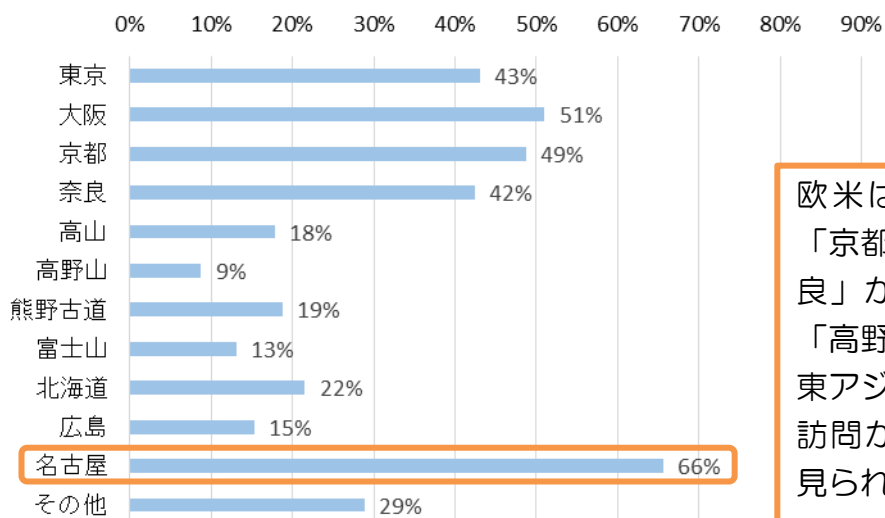
(複数回答)



■欧米のみ抜粋

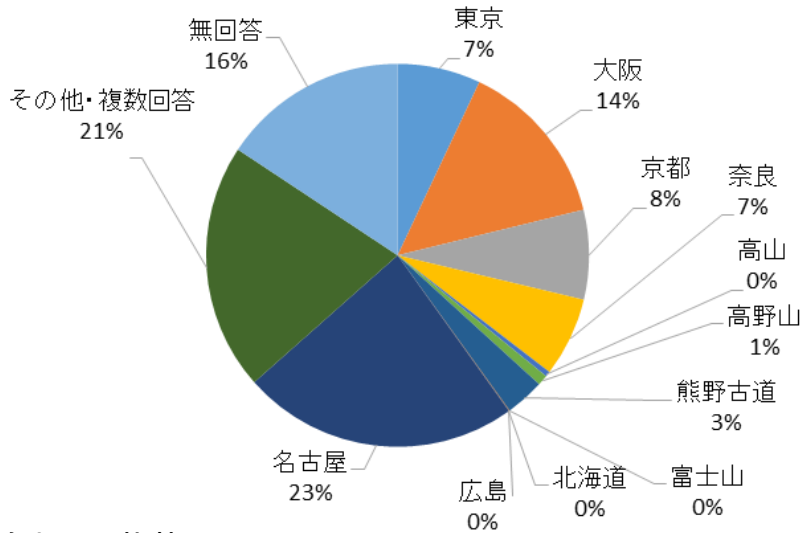


■東アジアのみ抜粋

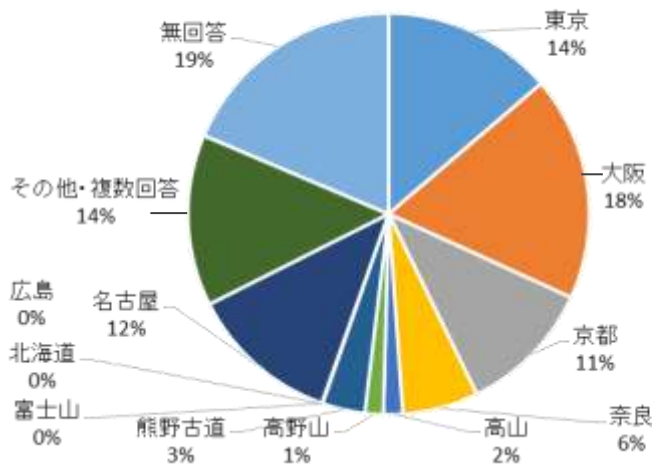


欧米は東アジアと比べ、「京都」「東京」「大阪」「奈良」が多いほか、「広島」「高野山」も多い。東アジアは「名古屋」への訪問が多いという特徴が見られた。

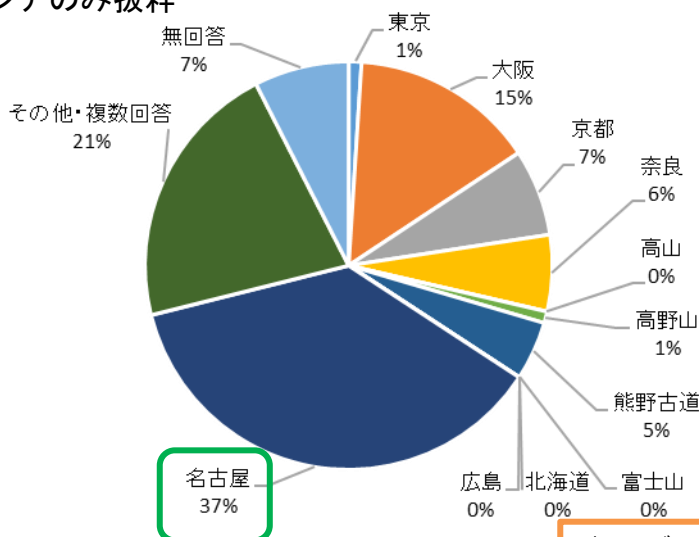
■全体 10. 伊勢へ来る直前の滞在地



■欧米のみ抜粋

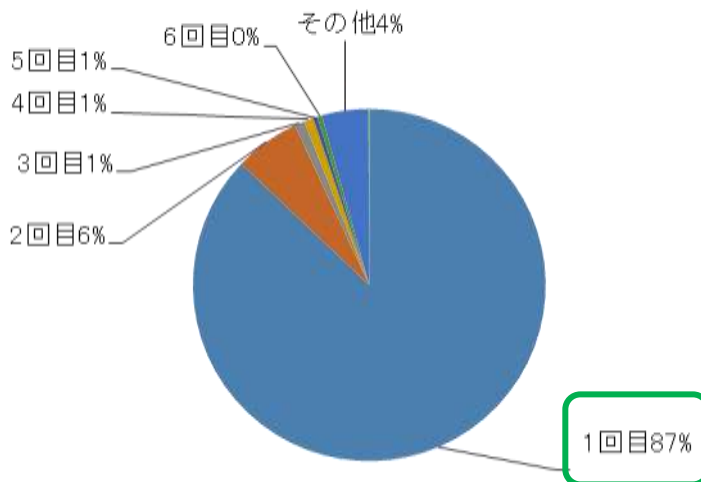


■東アジアのみ抜粋

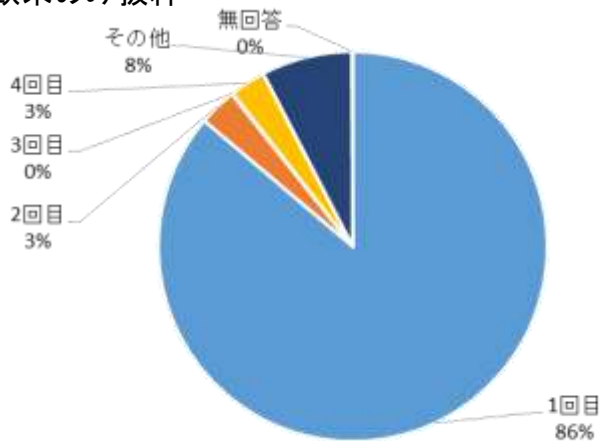


東アジアは「名古屋」が最も多いという特徴が見られた。訪日リピーター、個人旅行が増加しており、伊勢を含めた訪問の目的地に近いセントレアから入国していることも考えられ、今後も注視していきたい。

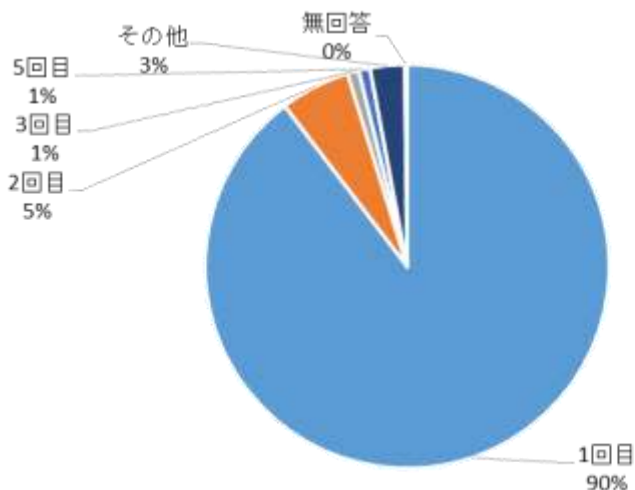
■全体 11. 伊勢への訪問回数



■欧米のみ抜粋



■東アジアのみ抜粋

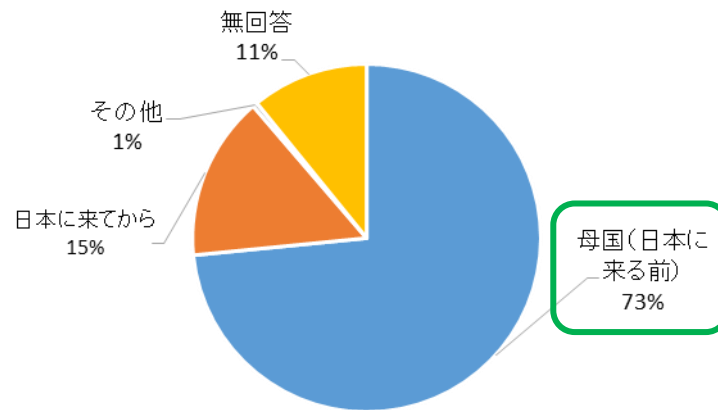


初めて伊勢を訪れる人が、平成29年調査では89%（※）であり、平成30年調査も引き続き、大半を占めた。

（※0回目と1回目の合計）

なお、欧米、東アジアとも初来勢が大半を占めているが、「8.訪日回数」から欧米の約4割は初来日で伊勢を訪れているという特筆すべき傾向が見られる。

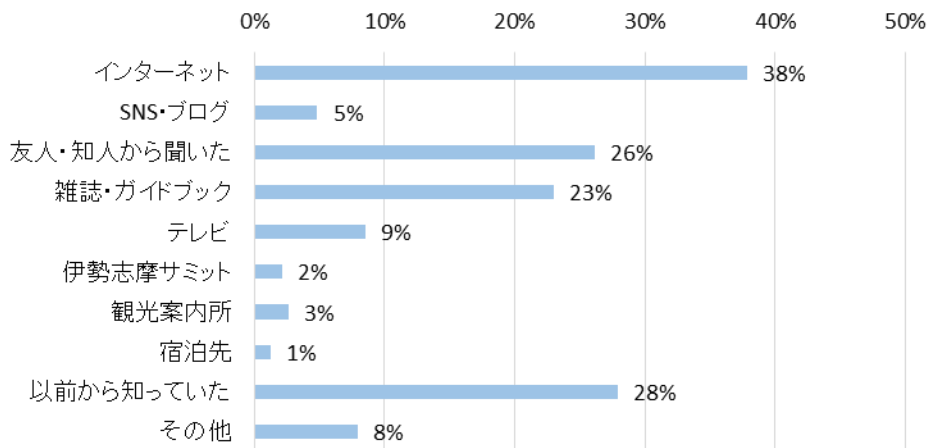
12. 伊勢をいつ知ったか



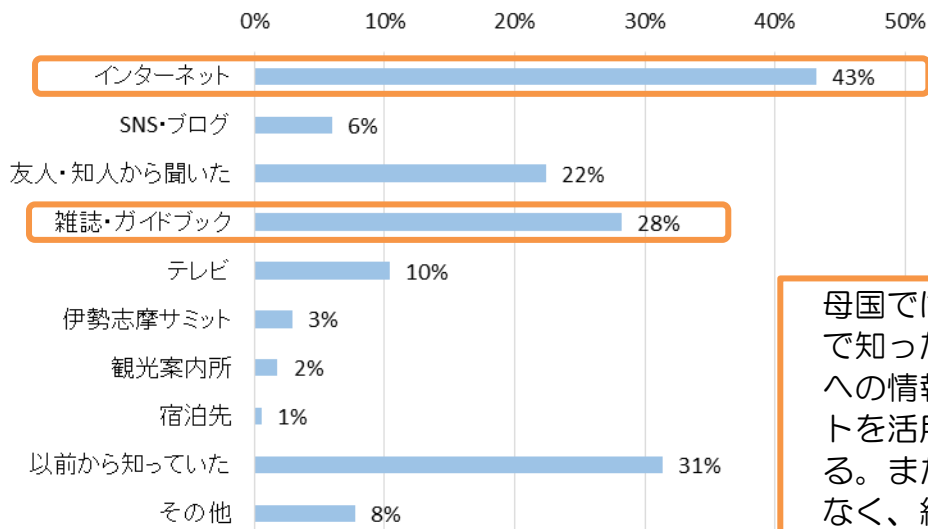
母国（日本に来る前）で伊勢のことを知った人が73%と最も多い。旅行前に現地へ情報を届け、伊勢の魅力を認知していただくことが、伊勢への来訪に繋がると考えられる。

(H30 調査の新規項目)

■全体 13. 伊勢をどのように知ったか (複数回答)

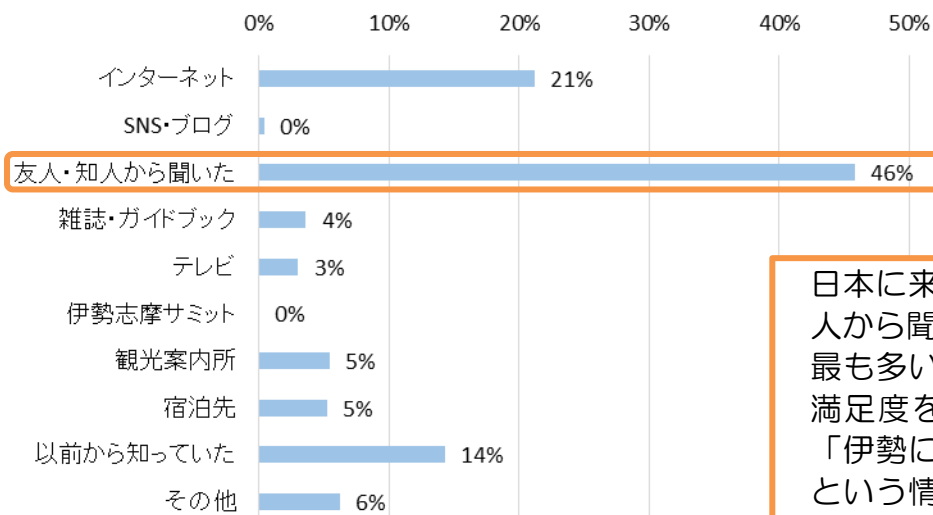


■母国で（日本に来る前）知った人



母国では「インターネット」で知った人が最も多い。発地への情報発信はインターネットを活用することが重要である。また、WEB 媒体だけでなく、紙媒体の「雑誌・ガイドブック」も有効な情報源となっていると考えられる。

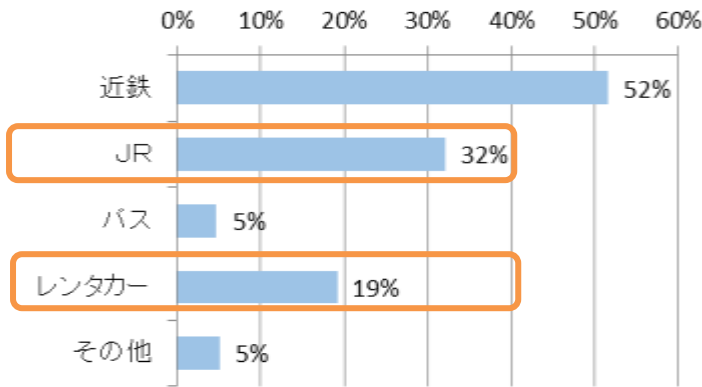
■日本に来てから知った人



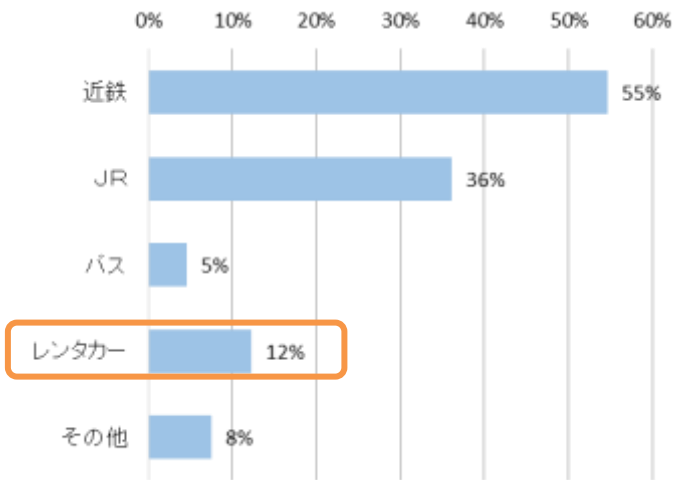
日本に来てからは「友人・知人から聞いた（口コミ）」人が最も多い。伊勢へ訪れた人の満足度を高めることにより、「伊勢に行ったら良かった」という情報を発信していただくことも、更なる伊勢への来訪に繋がると考えられる。

■全体 14. 伊勢までの交通手段

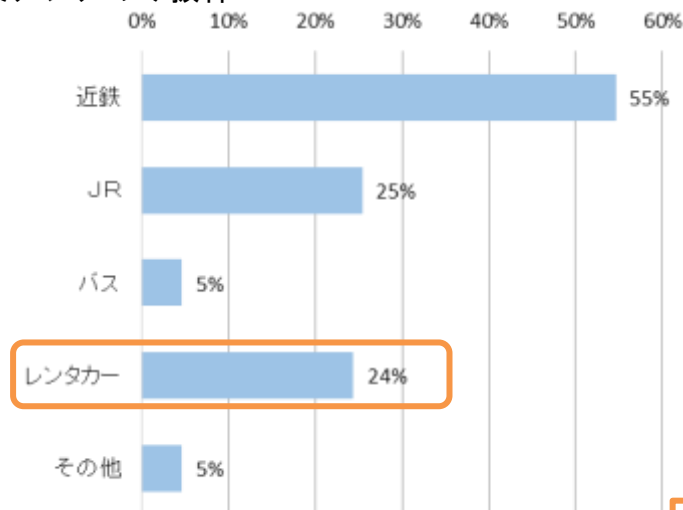
(複数回答)



■欧米のみ抜粋



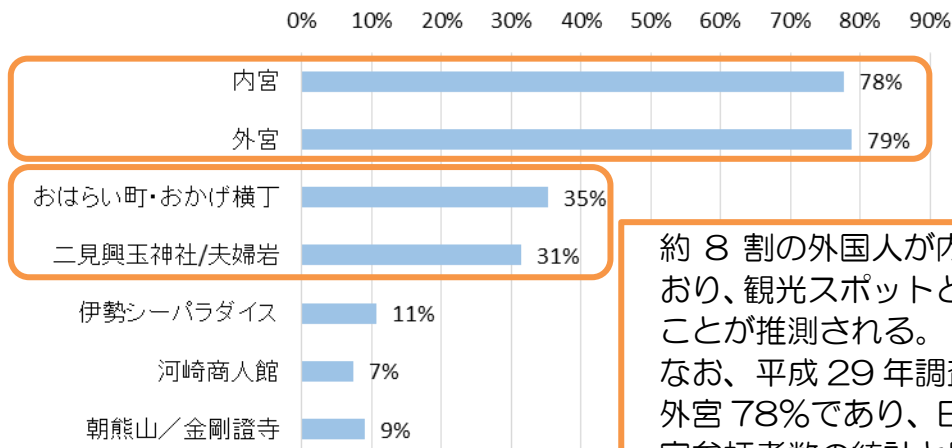
■東アジアのみ抜粋



「JR」の利用が平成 29 年調査では 23%であり、9%増となっている。

「レンタカー」は平成 29 年調査では 18%であり、引き続き約 2割が利用している。また欧米に比べ、東アジアの利用割合が多い。

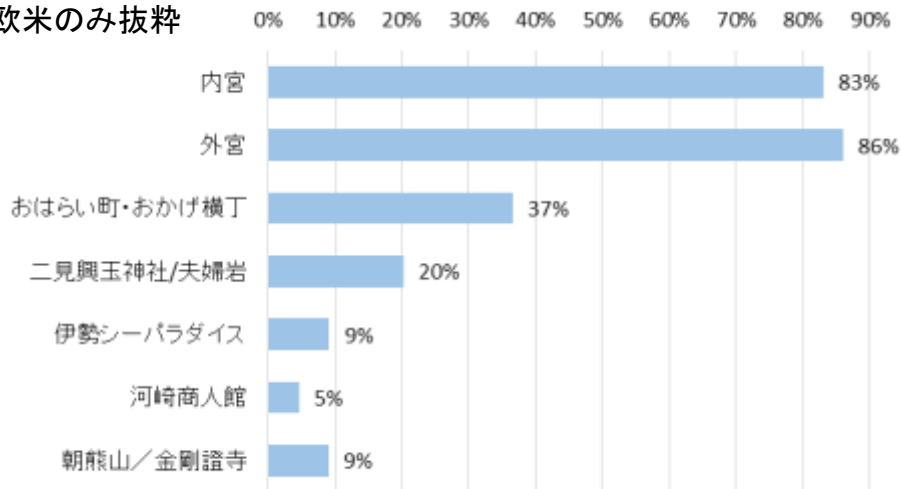
■全体 15. 訪れた(訪れる予定の)観光スポット (複数回答)



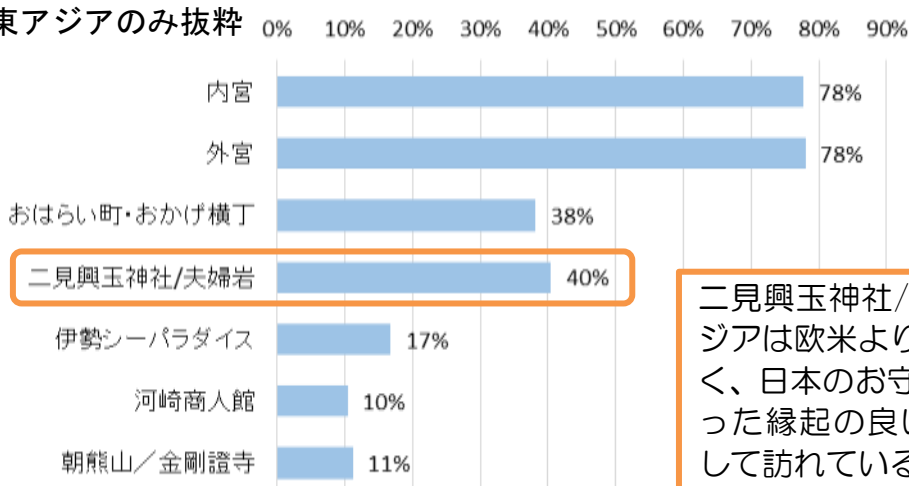
平成 30 年伊勢市観光客実態調査
 (日本人観光客を対象としたアンケート調査)
 <来訪スポット>
 ・内宮 84.2%
 ・外宮 60.6%
 ・おかげ横丁・おはらい町 82.2%
 ・二見興玉神社/夫婦岩 37.4%

約 8 割の外国人が内宮・外宮を訪れており、観光スポットとして定着していることが推測される。
 なお、平成 29 年調査でも内宮 77%、外宮 78%であり、日本人の観光客や神宮参拝者数の統計と異なり、来訪者が内宮より外宮のほうが多い。神宮は複数のお宮が存在するということを知られていないことや、外宮は内宮よりも駅から近く来訪の利便性が高いことが影響していることも考えられる。
 なお、日本人観光客の来訪スポットと同じ地点を訪れている。

■欧米のみ抜粋



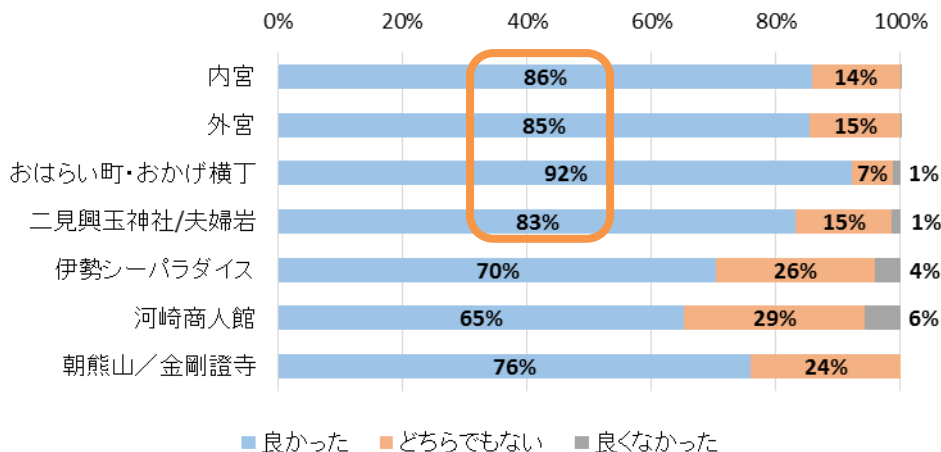
■東アジアのみ抜粋



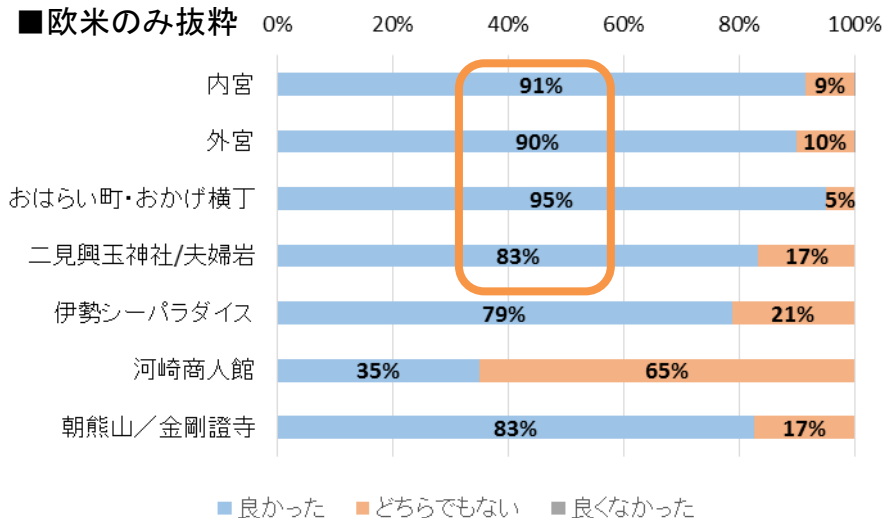
二見興玉神社/夫婦岩を訪れる東アジアは欧米より多い。参拝だけでなく、日本のお守りやカエル、龍といった縁起の良い動物なども目的として訪れていると考えられる。

■全体

16. 訪れた感想

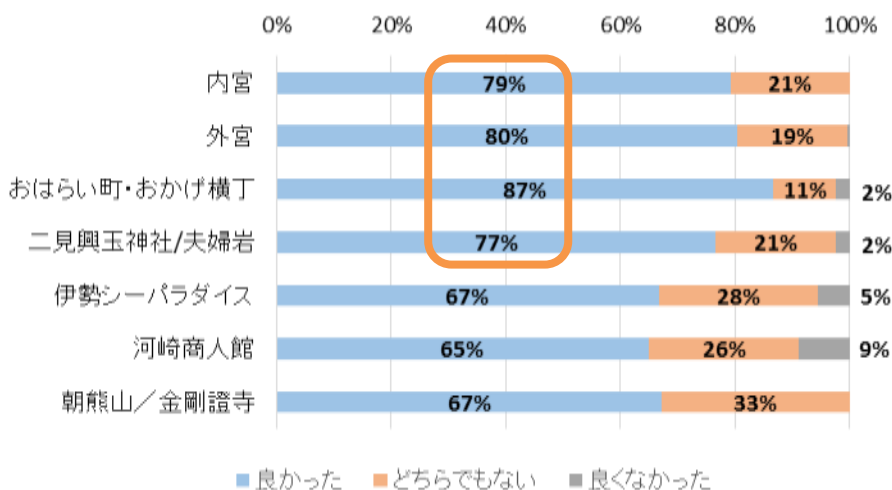


■欧米のみ抜粋



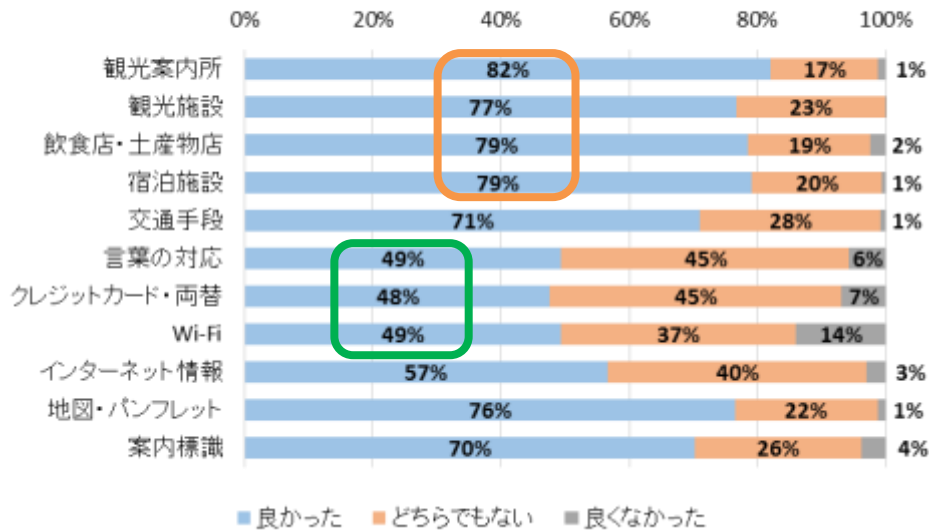
※伊勢シーパラダイス、河崎商人館、朝熊山/金剛證寺はサンプル数が僅少であるため参考数値。

■東アジアのみ抜粋

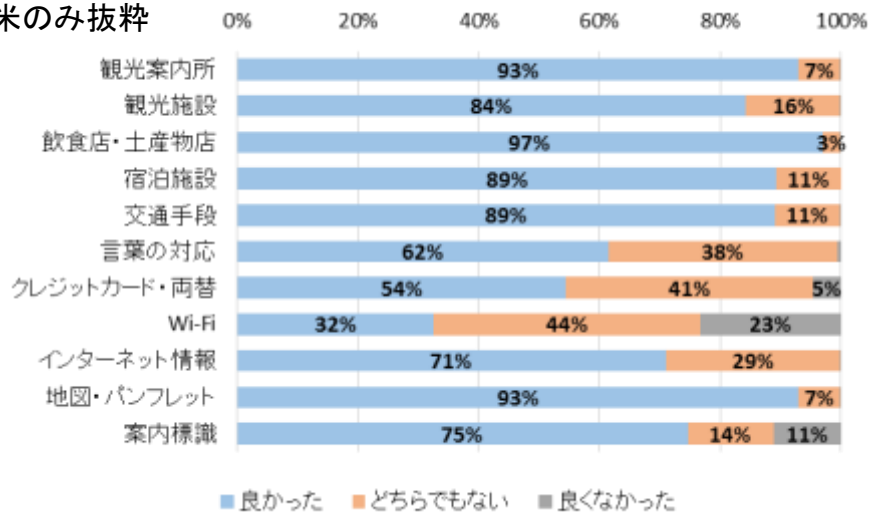


おはらい町・おかげ横丁、内宮、外宮、二見興玉神社/夫婦岩は80%以上が満足している。
また、欧米は東アジアよりも満足度が高くなっている。
歴史文化や自然に興味・関心が高い欧米に伊勢の特色が合致し、高評価となっていると考えられる。今後も伊勢単独では欧米への情報発信に注力していく。

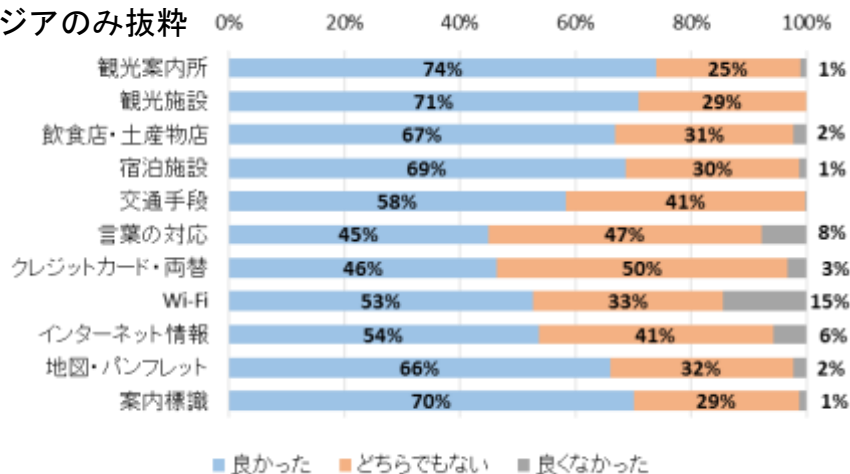
■全体 17. 伊勢の施設やサービスの感想



■欧米のみ抜粋



■東アジアのみ抜粋



観光案内所、宿泊施設、飲食店・土産物店、観光施設に対する満足度が高い一方で、クレジットカード・両替、言葉の対応、Wi-Fiの満足度が低い。また大半の項目で、欧米が東アジアより満足度が高くなっている。

18. その他(自由記述) (※一部抜粋。少数意見含む)

良い評価

- ・英語を話せる人は少ないですが、どの人も気さくで親切なので何の問題もありませんでした。
- ・旅館に宿泊したことが伊勢での最高の経験になりました。今のところ、今回の日本旅行においても最高のおもてなしを受けました。
- ・伊勢と伊勢の豊かな文化・歴史が本当に好きです。今後も何度も訪れようと思っています！
- ・観光案内所のスタッフが非常に愛らしく親切でした。
- ・伊勢はとてもきれいで静かな町です。
- ・ある知人(大学教授)から伊勢のことを聞きました。彼にとって伊勢神宮は世界の中でもお気に入りの場所だそうです。そのようにして私は伊勢について知り、ここに来ることになりました。

悪い評価

- ・英語の案内標識がありません。
- ・観光客にとってはもっと英語が通じるとよりありがたいです。
- ・内宮へのバス路線が複数あることも少々ややこしいです。バス料金についての情報を入手しづらいです。
- ・日本中どこでもそうですが、クレジットカードがもっと使用できるようになると嬉しいです。
- ・京都や他の大都市から伊勢まで来る方法が分かりにくいです。(他の大都市ではもっと観光客向け情報が充実していて分かりやすいです。)

その他意見

- ・英語のメニューや営業時間が記載されたレストラン地図・リストがあればありがたいです。

伊勢のおもてなしや、落ち着いた雰囲気、歴史文化が高評価である。一方で、英語での情報提供が大きな課題である。